

**令和6年度 大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業
審査結果表**

大 学 名	広島大学	タイプ	I：地域等連携型
プ ロ グ ラ ム 名	Town & Gown 構想と連携した課題探究型経験学習による多文化共修教育システムの構築		
連 携 大 学 等	—		

〔評価コメント〕

本プログラム計画は、広島という地域特性やこれまでの様々なグローバル事業の経験を活かした課題解決に取り組むステップアップ型の国際共修の仕組みとなっている。その上で、貴学が力をいれている「平和」をテーマに置き、共修科目や共修環境の整備を行っている点は大変特徴的であり、平和共修科目の全学必修化をはじめとして、Town & Gown 構想へ自治体を巻き込み横展開を図ろうとしている点もユニークである。その中でも特に、フィールドワークやワークショップを多くのステークホルダーと連携する仕組みを構想している点は注目に値する。

また、補助金額が逡減していく令和9年度以降に大学負担額を計上し、プログラム期間中を通して年度ごとのプログラム規模を維持していくことで、本プログラム全体における資金計画の25%が独自拠出する計画となっている。特に最終年度においては70%が独自拠出となっていることから補助期間終了後の自走化にも十分期待ができる。

一方で、大学規模や外国人留学生数を鑑みると、多文化共修科目や外国人留学生の国内及び地域への就職等に関する目標の設定値が低いことが懸念される。オンデマンドでのPREP科目を提供するのは良いアイデアだが、それだけで次のステップで課題探求型経験学習という活動をするには、レディネスが保証できるのかどうかは未知数ではないか。また、多文化共修を通じた課題解決力がいかに育まれるのか、フィールドワークやディスカッションから課題解決までのギャップをいかに埋めるのか、といった事柄について、具体性が欠けているため更なる検討が望まれる。

最後に、今回選定された貴学においては、世界や地域の課題解決に資する人材を育成するため、多文化共生社会の実現を牽引し、さらに多文化共修による教育研究活動を、国内外の課題解決策の提案や社会実装の先にある「ソーシャルインパクト」の創出につなげていくことを強く要請する。